



# 竜美ヶ丘小児科新聞

No.19(平成29年第1号)



## “つながる ひろがる 子どもの救急”

★岡崎市が、市制100周年を記念して“新世紀岡崎チャレンジ100”という市民自ら企画し・実施するプロジェクトを支援する事業で採択され、昨年4月から活動しています。

★当院で行なっている“子どもの病気ミニ講座”を岡崎全体でやってほしいとのご意見や、こういった啓発活動の重要性が

無く、実際に行うことを考え  
看護師の野村さんが、  
子どもの救急”という会を  
支援センター、地区子育て  
回の子どもの救急や病気の講座



分かっていながらその機会が  
ていた小児救急看護認定  
“つながる ひがる 子  
立ち上げ、総合子育て  
支援センターで毎月2  
を開いてきました。

★0歳から100歳までの100人の

子育て応援メッセージ集をつく

る企画も皆様のご協力で完成しました。ありがとうございます。

★この支援事業は今年の3月で終了ですが、この活動が継続的な事業となることもこの活動を始めた目的の一つです。また、支援センターや保育園のスタッフや参加された方々から、来年度も続けて欲しいという要望も多く、来年度も活動は、継続します。

☆☆☆詳細はホームページ(左上QRコード)をごらんください。☆☆☆

<http://tsunahiro.tatsumigaoka-child-clinic.jp/>

### 子どもの健康

#### —おねしょ (夜尿症) —

「5歳以上の子どもが1カ月に1回以上のおねしょが3カ月以上続く」と、おねしょ(夜尿症)といいます。5歳で約16%、小学校に入学時には10数%、9歳では約3%と年齢とともに自然になくなります。生活指導や治療で、2~3倍治る可能性が高くなり、期間も短くすることができます。まずは、“叱らず”。夕方以降の水分は控えるようにし、寝る前に必ず“おしっこ”をし、“早寝”で“起こさずです。”おねしょ“がなかったときは、褒めてあげてください。これを、半年続けてみて改善がなければ、一度、受診してください。

「起こさず、焦らず、叱らず」です。

### 内田岡崎市長さんとの面談



内田市長さんから子育て応援メッセージを“市長さん”としてだけでなく“お父さん”としてもお話を聞いてきました。

お父さんとしての子育ての熱い思いも聴くことができました。大変ご多忙な中、時間をつくっていただきました。メッセージ集をご覧ください。もちろん、この企画とインタビューは、会長の野村さんです。